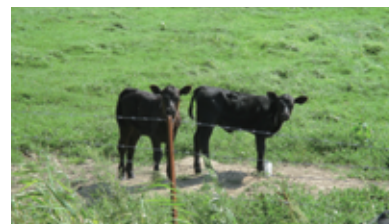


e-ビーフNEWS 北の牧場から

October 2017

十勝の秋真ただ中

朝霜が降りてきました。寒い朝の始まりです。氷点下に近いひとヶ台の気温は、日中でも20℃には届きません。例年より1週間早い気がしますね。昨日、十勝の北に鎮座する大雪山系の初冠雪のニュースが入ってきました。気温が下がると遠く日高山脈の峰々の輪郭が秋の青空に映えます。いつの間にか市内の木々の葉が黄色くなり覆ってきました。並木のナナカマドやハマナスの実が赤く膨らんでいます。冷害の昨年と違い今年は実の数が多いです。十勝の畑でも収穫が真々盛り。トラクターがそこら中の畑で収穫機を付け動き回っています。農家も昨年とは打って変わり大収穫。1年ぶりで取り戻せそうです



活動のお知らせ

- 9月 8日(金)…13:00信州大学農学部伊那キャンパス(日本畜産学会第123回大会会場)
日本産肉研究会第20回学術集会→青山理事、岩崎事務局次長参加 資料送付可能
9月23日(土)…とかちプラザ 理事会9名参加 シンポジウム実行委員会、e-びーふ生産牧場の検証・現地視察
10月21日(土)…広島県福山市西部市民センター 畜産システム研究会第31回大会「自然と地域につながる肉牛生産」
10月26日(木)～27日(金)…北見市農業会館 第22回北海道肉牛研究会大会
11月 8日(水)…とかちプラザ 日本短角種研究会 講演会
9日(木)…10:30～北海道畜産公社 道東事業所十勝工場
第7回北海道肉専用種枝肉共励会 とかちプラザ 視聴覚室 第18回資源循環型肉牛生産シンポジウム 2017

NEWSばか読み

- 日本養豚協会 英国から豚精液の輸入が可能に
9/4:今までできなかったの?
- 畜産環境技術研 微生物資材の測定結果で効果認められず
9/4:環境の違いの影響か
- 米韓FTAでトランプ大統領 破棄を検討 9/4:大国のわがままが通る
- 農林水産省 ジビエ食の利用でモデル地区12か所を選定
9/5:シカの出現頻度減
- 熊本JA菊池 繁殖拠点整備で町内子牛供給確立化 9/5:和牛地産地消
- 改正畜案法 集送乳調整金 平等負担が条件 9/6:既得権とのすり合わせ
- 観光庁 訪日客向けに体験型資源開発 9/6:農業も含めて
- 中国 乳製品大手豪牛乳業がアリババと提携し農村部に浸透
9/6:自国産業の伸び
- 米国流通大手トイザラス破産申請 ネット通販直撃 9/7:流通革命が続く
- ジェトロ タイの日本食レストラン減少 競争激化 9/7:海外も飽和状態
- 米穀機構 中外食でコメ消費量1割減少 健康改善メニューの影響
9/9:おにぎり革命追い付かず
- 女性就労改善 生涯M字カーブ谷間緩やか 欧米並みに働き方が多様
9/9:戦力
- 大手食品メーカー 食品ロス削減で賞味期限を年月表示で 9/9:解決策か
- 宮城 全国和牛共進会で枝肉セリ最高値5万円(鹿児島)
9/12:おめでとう
- 鶏卵の輸出 香港へ新鮮安全から最高ペースで伸長 9/13:実力
- 国交省 所有者不明の土地全国で九州以上の410万ha
- 9/13:土地はあるなあ
- 日本産科学会 15年体外授精42万件赤ちゃんに20人に一人 9/13:ET
- 厚生労働省 15年度医療費42兆円9年連続最高を更新
9/14:国の基幹産業?
- 米国アイダホ産ジャガイモ輸入解禁 9/14:ポテチ対策
- 根室5JA 乳牛異品種交配 北欧種で検証開始
9/15:北海道独立種がほしいね
- 食品宅配16年度2兆円超える伸び 高齢共稼ぎで 9/15:流通の変化
- JA全農 シンガポール空港内で牛肉はじめて農産物の直売店
9/16:輸出積極ポーズ
- 100歳以上最多の6.7万人女性9割 長寿は島根県 9/16:まだまだ青年
- 豊富天然ガス供給公社からセコマ乳製品加工工場の燃料に
9/16:エネの多様性模索
- 総務省 90歳以上206万人65歳以上27.7% 9/18:長寿社会顕著
- イオン 鹿児島で和牛繁殖事業に参入 9/19:流通大手の根来どころ
- 台湾 日本産牛肉16年ぶりに解禁 9/20:和牛のみでなく提供
- 米国トイザラス破産申請 9/20:ネットに潰された
- 日清食品カップ麺の「謎肉」解明 豚肉と大豆 9/20:わかかってよかったね
- 自販機コンビニ盛況 セブン参戦 9/20:商機はどこにもあるね
- 厚生労働省 糖尿病患者1000万人超え 9/22:食生活?
- スイス 食糧安保を憲法に盛り込む国民投票で8割賛成 9/26:憲法改正賛成
- ユニクロ ヒートテック新年度発表でも新味薄れる 9/27:時代は変化を望む
- スーパー販売価格の下げ続く 節約志向強く 9/28:消費者の実態
- 米国牛肉SG発動でも輸入量減らずチルド5割増 9/29:米国牛肉着実に浸透
- 農林水産省 ポテチ向けジャガイモの改良や機械開発で支援
9/30:国産の定着化

東京直近NEWS (9/30 Shi-REPORT)

ホルス 10月枝相場は下げ基調。北海道産地は相場下げでの建値形成も、集荷競争の状況強まっております。枝肉評価は上昇継続とのこと。販売については、学校の休み明けや気温の低下とともにスソもの中心にタイトな状況。特にカタロースは例年より荷動き早く、既に完売状況。赤身や切落しもスライス需要の増から引き合い強くパーツは余裕なし。各社冷凍在庫も薄い様子。但し販売価格は、交雑の荷余りと枝相場安値から販売単価でスソものはバッティングしている状況も垣間見える。

経産牛 枝相場は高値安定状況で推移。盆明けは一時、集荷頭数少なく工場によっては開店休業状況もあったが落ち着きつつある。パーツは赤身を主にロイン系含め不足状況。バラ系は余裕あるものの、過剰な在庫にはなっていない。挽き材は、動き鈍く価格次第の状況。但し、豚や輸入物も割安感無く、加工原料としても一部では国産牛へシフトしてきている場面もあり。出回り頭数は絶対量が足りておらず、今後の在庫状況や引き合いに注視。

